学校番号	403

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校生の美術３　（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■美術Ⅱの内容を踏まえて「独創的な主題を生成し、個性を活かして創造的な表現を追及する絵画・彫刻」、「機能や効果を考えて独創的な主題を生成しデザインをすること」「主題にあった表現を選び、その特性を活かし創造する映像メディア表現」「作者や作品と社会の関わりを考察し、自己の価値観や美意識を働かせて鑑賞すること」の４つの分野について年間を通して学習します。

■授業の進め方としては、導入時に各単元の学習内容についての意図や歴史的背景、美術理論などを、プリント等を交えて解説します。また具体的な参考作品や画像資料などを提示して、それらも発想の手がかりとして制作してもらいます。画材の扱い方や表現技法、色彩や構成の考え方については個別にも指導して行きます。また作品についての制作意図の発表なども行い、言葉によるコミュニケーション力の向上も目指します。

■学習の到達度は、題材に基づいて制作された作品と制作プロセス、授業態度、制作・鑑賞レポートなどで評価します。

■美術Ⅲでは、社会と自分と美術がどのように関わっているかを考えながら学習することで、自己と深く向かい合い、将来の進路実現に向けた意識を高めてもらいたいと願っています。
また、美術Ⅱよりも取り扱う素材の自由度や難易度が上がり、各自事前の準備が必要になることがあります。常に主体的且つ計画的に取り組むように心がけてください。

2　学習の到達目標

これまでの創造的な造形活動を踏まえて、より作品の完成度を高める。美術と社会の関わり方を考察し、美的体験を豊かにすることで、生涯にわたり美術文化を愛好する心情を育てる。また、多様な表現方法に触れることで、感性と美意識を磨き、個性豊かな作品制作を目指す。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	多様な表現に関心を持ち美術文化の尊重と主体的で個性豊かな表現や鑑賞の創造的な活動に取り組んでいる。	独創的な主題の生成と、創造的な表現構想が出来ている。	創造的な表現のために必要な技能を身に付け、主題に応じた、個性的な表現の工夫が成されている。	美術作品の表現上の工夫と国際理解に果たす美術の役割と美術文化の意義を考察し、自己の価値観と美意識を働かせて創造的に味わっている。
評価方法	学習活動の様子 制作の様子 レポート 鑑賞活動などの様子	アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作の様子 制作途中の作品 作品	レポート 鑑賞活動などの様子

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	オリエンテーション	【鑑賞】【絵画】 ・教科書の内容(様々なアーティストのインタビュー)を読み、そこに自己を投影して、感想を書く。 ・人物クロッキー	○	○		○	a:様々なインタビューを読み主体的に自身と美術のかかわりを考えようとしている。 b:　人の体の構造や動きが連動する美しさを感じ取っている。 c：鉛筆の線の表現が人体の表現に合うよう工夫されている。 d:美術文化や美術作品の役割を社会との関連性に基づいて、創造的な観点から鑑賞できている。	学習活動の様子 鑑賞活動などの様子 作品 レポート
	日本画に挑戦！	【絵画】【鑑賞】 ・教室内の画集や教科書に掲載されている、明治時代以前の絵巻物や障壁画や襖絵、水墨画、浮世絵などの日本絵画を鑑賞する ・草や木のスケッチを行う ・スケッチをもとに画面を構成する ・伝統的な画材である岩絵具と和紙、金箔、墨を用いて日本画を描く。作品完成後は互いの作品の鑑賞会も行う	○	○	○ ○	○ ○	a:日本絵画の歴史やその表現方法に関心を示し、主体的に表現しようとしている。 b:伝統的な日本絵画を手がかりに、感性を働かせて、創造的な表現を構想できている。 c:岩絵具や膠、和紙、金箔、墨の特性を理解し、創造的に表現する工夫がある。 d:日本の伝統的な美術作品や美術文化を理解し、その美しさや良さを創造的に味わっている。また互いの作品を鑑賞し合い、多様な視点を身に付けようとしている。	学習活動の様子 制作の様子 制作途中の作品 作品 レポート

2学期	ケント紙を使って吊るせる立体を制作しそれを使って映像をつくろう	【立体】【映像メディア表現】 【鑑賞】 ・作る立体のテーマを決める ・テーマに沿って吊るせる立体を制作する ・その作品がメインとなるテーマに合う画像映像作品を制作する ・作品のプレゼンテーションを行う	 ○ ○ ○	 ○	 ○ ○	 ○	a:動く立体に興味を持ち、主体的に表現しようとしている。 b:立体に相応しい独創的な主題を生成し、創造的な構想ができている。 c:創造的で個性あふれる表現ができている。 ｄ：画像・映像作品の特性を理解し、自己の美意識を創造的に高めようとしている。	学習活動の様子 制作の様子 制作途中の作品 作品 レポート 画像・作品 プレゼンテーション
3学期	絵本製作	【デザイン】 ・自身がテーマを設定する ・他者に何らかのメッセージを贈ると想定し、内容を考える ・本の製作を行うことで、社会にむけて自己表現を行う	 ○ ○	 ○	 ○ ○		a:社会にむけてのメッセージ性、中身との関連性を主体的に考えて表現している。 b:テーマを伝えるための構想が、独創性あふれる形で出来ている。 C:素材や技法に工夫を凝らして、自身の設定したテーマに合致する表現を創造的に行おうとしている。	学習活動の様子 制作の様子 制作途中の作品 作品 レポート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。